

群馬県立文書館 教材活用史料詳細カード 34

請求番号	P0905	文書番号	3380	年代	昭和7年(1932)
史料名	「新満州國要覽 写真と解説」東京朝日新聞第16540号附録				
形態	冊子、64ページ (ほぼB5サイズ)	複製	あり・なし		
備考	寄託の古文書(富澤久幸家文書) *吾妻郡東吾妻町に伝存				
史料概要	<p>建国されたばかりの満州国(3月1日)について特集されている新聞の附録である。冒頭の「大満州國鳥瞰圖」(見開き)には「日本所有鉄道」等が記されている。各記事の見出しには「われ等の活躍を待つ新楽土」「満蒙へ進め 投資と移民の好適地」「わが満蒙 特殊権益 幾多の條約に裏書されたる」「満州事変 皇軍連戦連勝の回顧」「上海事変 暴虐十九路軍大敗まで」といったプロパガンダ的な語句がある。</p> <p>本文には、満蒙への巨額の投資に対して利益が少ないのは「志那」のせいであり、「東洋平和」のために日満で協力することになった(P24・25)などとあり、軍事侵攻や満州国建国の正当化が主張されている。また、皇帝溥儀といった著名人をはじめ、土地の広大さと都市の近代性を強調したような写真が多い。</p> <p>表紙は洋画「南風」(1907年)が教科書にも載る和田三造の絵。広告には馬に乗った軍隊の写真と「前進又前進」の語(キッコーマン醤油)、「満州上海事変戦死者慰霊観音建立」「高村光雲造仏」「護国の英霊安らかに瞑れ!」(薬品「ベルツ丸」)などがある。随所に産業界・美術界等と戦争の関係が見て取れる。</p>				
指導要領(内容)との関連	<p><小 6> (2)-ア-(サ) 日中戦争・第二次世界大戦</p> <p><中 歴> C-(1)-ア-(カ) 第二次世界大戦</p> <p><高歴総> C-(3)-ア-(イ) 第二次世界大戦の展開</p> <p><高日探> D-(3)-ア-(ウ) 軍部の台頭と第二次世界大戦</p>				
活 用 例					
活用単元	昭和期の国際関係、満州事変、孤立する日本、日中戦争、第二次世界大戦				
活用場面	<ul style="list-style-type: none"> 昭和時代前半における国際関係、第二次世界大戦へつながる日本の様子がわかる史料として、導入及び探求する場面での活用。 				
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> 複写(デジタル撮影)することでプリントや掲示することができるほか、調べ学習の史料として提示することができる。また、教室や廊下に展示し、いつでも自由に見ることができるようにすることで、学習への意欲関心を高めることができる。と考える。 				
予想される生徒児童の反応など	<ul style="list-style-type: none"> 現在と違う国際関係のあり方や、多くの軍事的衝突を伴い、緊迫していた関係、日本の状況が視覚的にわかる資料であり、児童生徒の関心を高めることができるであろう。また、写真や詳しく叙述された文章から、当時の政府の植民地主義的な政策や、それをメディアにより国民に強力に伝えようとしていた様子などを、比較的容易に読み取る事ができると考える。ここから、メディアの在り方などに考えを広げていくこともできる。 				

「新満洲國要覽 写真と解説」東京朝日新聞第 16540 号附録 (P0905 3380) 昭和 7 年

